



東庄小学校初の入学式、 記念すべき新入生93人

東庄小学校の初めての入学式では、大きなランドセルを背負い、保護者に手を引かれて登校する可愛らしい児童の姿が見られました。

式典では、新型コロナウイルス感染症対策のため、マスク着用や手指の消毒のほか、座席の間隔をとって着席し、保護者の参加は1人までと限られました。また、国歌や校歌は歌わずに歌入りの音源を流し、来賓は教育長のみと、

時間を短縮しての開催となりました。

関口喜代美校長は、「あひるの約束」として、「あかるいあいさつ、ひとりでしょう自分のこと、ルールを守って安全に過ごそう」と、呼びかけました。児童代表では、上田心斗さん（6年）が「みんなで力を合わせて、元気に楽しく学校生活を過ごそう」と歓迎の言葉を送りました。

児童は、担任の先生から一人ずつ名前を呼ばれると、元気に返事をしながら、起立。最後に児童全員で「元気に頑張ります」と保護者に向かって、誓いの言葉を述べました。式典が終わると、児童は安堵の表情を浮かべました。その後、写真撮影を行い、密集を避け、クラスには寄らずに、待っていた保護者と一緒に下校しました。

東庄小学校

希望を胸に 入学式

いた東庄中、
6月1日(月)に
お届けします。



東庄中学校

たくさんの笑顔の

練習なしでも 堂々たる東庄中入学式

午後に行われた中学校の入学式では、98人の初々しい制服姿の生徒が見られました。

学校に入ると、健康チェックと手指の消毒を行い、指示された教室へ入室。教室では、3学級を6クラスに分けて、入学式の説明が簡潔に行われ、その後すぐに式典のため体育館へ移動しました。

生徒は、担任の先生らの後に続いて入場し、着席。式で、一人一人の名前が呼ばれ

ると、力強くしっかりと返事をしていました。

石橋宏克校長から「目標を決め、その実現に向けて努力してほしい」と、激励の言葉を受けると、生徒は引き締まった表情をしていました。

また、在校生代表の上法実久人さん（3年）が「先輩として新入生の学校生活を支えていく」と、歓迎の言葉を述べると、これに応えるように新入生を代表して栗橋里桜さんが、学校生活を充実させていく決意を述べました。

小学校同様、間隔を空けたり、国歌・校歌のCDの音源を流したりするなどして、感染症対策を徹底し、式典は無事に終了しました。

下校時には、友だちとの再会を果たし、緊張もほぐれ、こやかな笑顔が多く見られました。

延期になって
東庄小の入学式。
行われた様子を